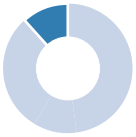
工作機械・メカトロ事業



工作機械・メカトロ事業売上／
売上高合計（2016年度）
11.9%

工作機械・メカトロ各種商品を提供しています。
研削盤は、ジェイテクトのTOYODAブランドの看板商品であり、
エンジン用カム・クランクシャフト研削盤においては、世界トップクラスの実力でお客様をサポート。
マシニングセンタは、高剛性で高信頼性、難削材加工に強みがあり、
自動車関連をはじめ、建設機械・農業機械・トラック関連などで広く利用されています。
制御システムは、自動車メーカーボディ溶接ラインに数多く採用されており、
機械設備の安全機能が実現できる制御システムとして多くのお客様から信頼を受けています。

カム研削盤 GC20Mi

FA1050S

TOYOPUC-PC10G

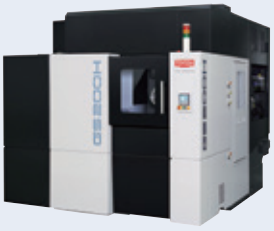
TOYOPUC-AAA

TOPICS

小型ギヤスカイビングセンタ GS200H

ギヤ量産加工に最適な
小型ギヤスカイビングセンタを販売開始

ジェイテクト製ギヤスカイビングセンタ最大の特徴である工程集約機能は継承し、大型機で培った技術・ノウハウを小型マシンに集約した量産加工に最適なギヤスカイビングセンタを2017年5月に販売開始しました。 → F_07〜08 関連記事



超大型横形マシニングセンタFH1600SW5i

日刊工業新聞社2016年（第59回）
「十大新製品賞日本力（にっぽんぶらんど）賞」を受賞

世界市場を牽引する日本発の技術ということを認められ、「超大型横形マシニングセンタFH1600SW5i」が本賞を受賞しました。同機は、クラス最大級の工作物サイズを誇り、農業機械・建設機械・エネルギー・発電機・航空機などの大型量産部品加工に最適なマシニングセンタとなっています。

CNC円筒研削盤

インドで現地生産・販売を開始

インドの研削盤メーカー最大手であるMICROMATIC GRINDING TECHNOLOGIES社へ技術供与を行い委託生産を2017年1月より開始しました。二輪車の部品加工に欠かせない高精度の円筒研削盤を現地生産することで、盛り上がるインドの二輪市場を支えていきます。

＊ TOYOPUCは株式会社ジェイテクトの登録商標です。
＊ ギヤスカイビングセンタは株式会社ジェイテクトの登録商標です。

2016年度の振り返り

1 売上高は前年度比5.1%減の1,563億円

国内および中国・米国での販売減少などにより、売上高は前年比で5.1%減の1,563億円となりました。

2 研削盤の競争力向上

熟練技能者の勘やコツ、経験に頼らず高度な加工が可能な小型汎用円筒研削盤GE3iシリーズの市場リリースを行いました。下記3モデルをラインナップとして拡充しました。

GE3i-PRO

1. **GE3i** ～安定した研削精度～
2. **GE3i-PRO** ～匠の技を生かすプロ仕様～
3. **GE3i-HYPER** ～高能率な研削を実現するハイパワー仕様～

3 IoEソリューションの展開を強化

IoT時代をリードすべく、IoEの導入ステップを定義し、「つながる」「見える化」「バリュー」「チェーン」といった4つのソリューションを提供しました。
目指す工場を「人と設備が協調し、人の知恵が働く、人が主役のスマートファクトリー」と位置づけ、品質・保全・生産の3つの軸においてトヨタ生産方式の思想を組み込んだIoEで、現場の課題解決を加速し、お客様の次世代のモノづくりに貢献していきます。

今後の見通し

1 足元の取り組み

お客様のニーズにタイムリーにお応えできるように、設備導入から稼働・保守、オーバーホールまで、設備のライフサイクルに合わせてサポートできる体制をさらに強化し、お客様のモノづくりの進化にお応えしていきます。
その中で販売力強化として、フロントローディング活動強化とバリュービジネスのビジネスモデルを確立し、収益向上を図ります。商品力強化としては、市場相場に見合ったスペックでの商品開発を進め、タイムリーにリリースしていきます。
スマートファクトリー化においては、自社工場とお客様モデル工場とで実証を進めています。今後は、この知見を生かし、ジェイテクトのスマートファクトリーを構築していきます。

2 将来への取り組み

環境保全を背景としたクルマ社会の変化に対応。テクノロジーの進化による新素材、新工法（除去加工から付加加工）、複合化に対応できる設備を研究・開発していきます。
また、お客様から信頼される真の総合生産ラインビルダーとして、ジェイテクトグループの固有技術を結集し、総力をあげて、カスタマーサービスエンジニアリング力、システムエンジニアリング力を強化。設備1台から工場全体まで、トータルでお客様をサポートする体制を整備していきます。